（様式１）

学校番号	27	学校名	茨城県立海洋高等学校

令和8年度道徳教育全体計画

諸法規

・日本国憲法
・教育基本法
・学校教育法
・教育関係諸法令

校訓

自主協調、責任、勤勉、礼儀、忍耐

学校の教育目標

豊かな人間性と人格の完成を目指し、社会発展に貢献し得る、心身ともに健全な海洋技術者を育成する。

生徒の実態

・素直な性格の生徒が多く、感情をストレートに出す生徒もいる。
・生徒の中には、友人とうまく交流も持てない生徒がいる。
・基本的生活習慣が確立せず服装頭髪でややルーズな生徒と、おとなしく、比較的落ち着いた学校生活を送っている生徒との格差がある。

保護者の願い

資格取得と生徒支援、進路指導の充実。また、個人の能力にあった指導を行ってほしいとの要望がある。

道徳教育重点目標

基本的生活習慣の確立を図り、集団の中の個の在り方について理解し、規範意識やマナーを身に付け、本校生徒としての自覚と責任を持って高校生活を送り、将来的には社会の発展に貢献できるようにする。

地域の実態

古くから水産業で発展してきた地域ではあるが、近年の漁業の低迷により活気を失いつつある。

各教科・科目

国語	国語的表現力・理解力の育成をとおしてコミュニケーション能力を高め、ものの見方や考え方を広げる。
地歴	日本及び世界の文化や歴史を理解し、国際社会の一員としての在り方について考える。
数学	数学的な創造性や判断力を養い、生徒の判断力・問題解決能力を育成する。
理科	自然に対する関心や探究心を高め、自然環境について科学的に考える力を育成する。
保体	実技や理論をとおして集団行動の中でのルールやマナーを身に付けさせながら心技体の充実を図る。
芸術	芸術活動をとおして、感性を高めるとともに豊かな情操を養う。
外国語	外国の言語や文化に対する理解を深め、国際理解をとおして、相手を理解する力を養う。
家庭	家族や地域社会と個人の関わりを学び、男女共同参画社会や福祉についても考える。
情報	情報処理能力を養うとともに、インターネット使用による情報モラルを身につける。
総合的な探究の時間	探究の見方・考え方を働かせ、地域や社会の人、もの、ことに関わる総合的な学習を通して、自己の在り方生き方を考えながら、適切で論理的な課題の発見と解決ができる資質・能力を育成する。
専門	実習や船内生活をとおしてルールやマナーを身に付け、心身ともに健全な海洋技術者を目指す。

特別活動

ホームルーム活動

・基本的生活習慣の確立
（身だしなみ・清掃の徹底・挨拶の励行・時間の厳守）
・集団の中での個のあり方（ルール・マナー）
・良好な人間関係の構築（思いやりの心）
・人間としての生き方在り方について（目的意識）

公民科

公共

・人間と社会についての見方・考え方を働かせる。
・現代の諸課題を追求したり解決したりする活動を行う。
・広い視野にたち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国会議員及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。

生徒指導

・基本的生活習慣の確立
・生徒理解の深化
・生徒の判断、問題解決能力の育成
・適切な価値判断力の育成
・キャリア教育の充実
（目的意識と達成感）
・企業実習をとおしての社会規範の
育成
・マナー、挨拶の徹底

家庭との連携

・保護者との面談の実施
・授業公開の実施
・保護者による学校評価アンケートの実施
・三者面談の実施（１～３年）

地域社会との連携

・学習公開、体験学習の実施
・学校評議員による学校評価
・授業公開の実施
・地域イベントへの参加
・小、中学校への出前授業、防犯講話、保健講話等外部講師による講演会の実施
・PTA、警察合同の交通マナーアップ運動の実施